

第 46 回関西支部勉強会

「科学を”魅せる”デザインの模索とその活動」

日時 2014 年 10 月 20 日（月） 18:00-20:00

場所 京都大学 吉田泉殿

ゲスト 山内俊幸氏

関西学院大学大学院 理工学研究科物理学専攻 修士 1 年

“Wimdac Studio” 名義でグラフィックデザインの活動も行う

人数 14 人

お話の詳細：

1. 「デザイン」とは何らかの問題に対して解決策を与えるもの
2. デザインを始めた理由は、JSEC という科学技術コンテストでのプレゼンの経験、キャンプのボランティアでの子供たちへの説明を経て、デザイナーの Ustream に出会い、デザインという考え方にはじめて出会ったこと。
3. デザインはあくまで手法、やりたいけど、コンテンツがない・・・そんなときに起業を目指す先輩がいたのでお手伝いを。それを 2 年ほど続けた。
4. デザインのノウハウがたまってきたので、そのこと自体をデザインのコンテンツにするというのではないかと思い立つ。自分が学んだデザインの知識を惜しみなく放出することを考えた。
5. ブログを始めたが 1 年放置してしまったので、自分に向いている方法を考えた結果、同人誌を選択。同人誌業界は意外と理系の人も多い。同人には科学を題材にした本が多くある。また、自由な創作が受け入れられる場でもある。また、流通は作って売る、委託するという単純さがある。
6. プレゼンの評価が課題、内輪の評価は良いが・・・。それに比べると対面販売でフィードバックがもらえる同人誌の形態は良い。

科学コミュニケーション研究会 関西支部有志

第 45 回 記録・運営担当：加納 圭（滋賀大学/京都大学）